

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 3370102885 | | |
| 法人名 | (株)ベネッセスタイルケア | | |
| 事業所名 | くらら門田屋敷 | | |
| 所在地 | 岡山県岡山市中区門田屋敷3-5-20 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年12月5日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigo-kouhyou.pref.okayama.jp/kaigosip/informatiionPublic.do?JCD=3370102885&SCD=320 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ライフサポート | | |
| 所在地 | 岡山県岡山市北区南方2丁目13-1 県総合福祉・ボランティア・NPO会館 | | |
| 訪問調査日 | 平成22年12月21日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1、ご入居者様とご家族様の思いを聞き取り生活のリズムを作り精神的な安定を図るよう支援させて頂いています。また、身体的・精神的に重度の方へはその人らしい表現が出来る様に傾聴と寄り添いを大事にさせて頂いています。
 2、ご入居者様同士が全員で楽しめるように外出アクティビティー取り組んでいます。
 3、地域の方、ご家族様、他職種等へ防災訓練を始めとして行事や勉強会への案内をして参加を呼び掛け、適正な運営に努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「一人一人の利用者がより良く生きる為どうすべきか」を追い求め続けて13年という歴史を刻んできたG.H「くらら門田屋敷」は、他のホームに見られない風格が感じられる。ほんの些細な言葉のやり取り、微妙な表情の変化、利用者同士の会話等からその人の思いをしっかりと受け止め、スタッフで共有してこうと言う姿勢、そして、どのような場面であっても真摯な対応をしている状況を目の当たりにして、私はそう思う。昨年度の目標達成計画の一項目に「今までよりも、より分かり易く本人・家族の思いを表に出しファイリングしていく」を挙げていたが、今後もよく話し合い、継続し易い方法で実りあるものにして頂きたい。本人・家族共に満足度の高い暮らしを実現しているの、益々「ベネッセ」の理念に近づいていくだろう。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|---|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | お客様と従業員の「よく生きる」を実現する為に「ベネッセスタイルケア宣言」の判断基準や行動のあり方等の読み合わせ、目線合わせを年1回行なっている。 | 大きく掲げられた会社の理念を軸に、ここ「から」の日常の中に於ける目標や指針を常に念頭に置いて利用者向き合っている。管理者は利用者より深く知り、お互いに共有し、同じ方向でケアしていく為の話し合いや指導をよく行っている。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 施設側からは勉強会や避難訓練、行事等に町内会へ回覧板や掲示板にて伝達をしている。地域の行事ではご入居者様の状態やご本人様の意向を伺いながら参加させて頂くようにさせて頂いています。 | ホームの前の道路沿いに掲示板が目付き「お餅つきのご案内」でご近所の皆様へのお誘いが見られた。地域交流の重要性はホームとしても十分感じており、町内会等への働き掛けも継続していて、少しずつではあるが、存在感は高まってきていると思う。 | 地域交流については、その周辺の地域性も有り、事業所からの働きかけに対する反応に違いもよくあることなので、今出来ることを一つ一つ積み重ね、地道な努力を続けるしかないと思う。 |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 町内会へは年一回当施設の案内と共に認知症の方を支える地域資源として活用していただきたい趣旨のご案内させて頂いている。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 不定期ではあるが年6回計画にて関係者各位に施設の活動や勉強会、行事などへのご案内をして意見をお聴きし活かす様努力をしている。 | 回数は少ないが市の介護保険課や地域包括からの参加があり、貴重な意見を多く頂いている。家族や町内会・民生委員・婦人会等への協力を要請し続けている。目標達成計画に挙げていた取組みについても軌道に乗りつつある。 | 運営推進会議についても地域や家族への誘いを工夫しながら継続していきたい。出来る限り多くの人にこのホームに入ってもらい、日々の生活の様子を見ていただく事がホームの理解につながる。利用者本人が発言できる会のあり方も検討できるかも知れない。 |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議への案内をさせて頂いています。参加も1回あり、貴重な意見も聞くことが出来た。 | 市側からの積極的な働きかけはないが、相談にはよく対応してもらったり指導を受けている。ホームと市の担当者が直接連携を取る事は殆んどないが、会社の担当者との連絡・連携は密にとれているようだ。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 年1回身体拘束についての勉強会を行い「3つの要件」がない限りご入居者様の行動を制限してはいけないことをスタッフと話し合っています。玄関は会社の方針と不審者侵入を防ぐ目的で施錠はしています。 | 身体拘束禁止の対象となる具体例は全くないが、「身体拘束の基準」についての研修を実施したり、日常的に利用者に対する受け答え等、心理的拘束がないか検討している。他の利用者が気になるような言動が見られても上手にカバーしている。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 年1回「虐待防止の基準」について勉強会を行い、虐待の早期発見に努めると共に防止に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度については玄関へパンフレットを置き、ご家族様へ活用出来る様案内をしています。又権利擁護に関してはスタッフに虐待防止の基準説明と合わせて簡単に説明させて頂いています。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | お話を伺えるような環境と時間を作り、説明をさせて頂き、疑問点もお聴きするようしています。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族様が訪問の際にスタッフは状態をお伝えしながらご家族様より意見をお聴きするようにしています。又運営懇談会の際にアンケート調査を行いご意見を頂いたことには懇談会にて説明と次期計画としてあげていく様にしています。 | 家族の訪問が多く職員とのコミュニケーションはよく取れているし、年1回実施しているホーム独自の家族アンケートも良い結果を得ている。目標達成計画の一項目として取り組んでいるが、課題は重要で、今後も継続したい。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定期面談シートと介護目標シート用い年2回定期面談を行なっている。又チームミーティングや全体ミーティングにおいて提案や意見を聴く機会を設けている。 | 管理者と職員は定期的なミーティングや面談等の他、日頃から些細な事でもよく話し合いコミュニケーションを十分取っている。職員は代表者とも相談したり希望を直接伝える等、意志疎通は図られていると思う。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 代表者は大阪を拠点としているが月に数回来岡されている。また、毎日の日報を確認しており、勤務状況も把握しており、安心して働けるよう努力されている。又各スタッフの評価もされている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 中途入社社員育成ではひとり立ちに不安のあるスタッフには安心して働けるまで研修期間の延長をしたり、社内(外)研修を受ける機会を提案しています。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 社内ではあるが大阪・岡山・奈良との交流会や勉強会又全社バレー大会や社内版の「べねとも通信」など交流を広げている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-----|---|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご入居前のアセスメントの際にはご家族様やご本人様よりご入居後安心して継続した生活が出来る様お話をうかがわせて頂いています。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご入居に至った経緯を伺いご家族様のご意見やご要望を把握に努め、「安心して暮らしていく為には、」についてお話をさせていただいています。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | アセスメントから見えてくるニーズを重点サービスとしてあげる事で個々に沿ったサービス利用を提案をしている。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日々のケア記録やスタッフの申し送りノート、又は口伝にて迷いがないようにケアの統一を図り、お声かけを常として傍に寄り添いお話をお聴きできる態勢をしている。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ケアの方針やケア方法について家族レターや訪問の際又はお電話でお伝えして共有を図っている。又ご家族様のご意見もお聴きさせて頂きプランへ活かせるように考慮している。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 日頃からのご本人様の言葉を聴き取りご家族様と相談しながら支援出来る様に努めている。 | 利用者本人の思いと家族の希望が一致しないこともあるが、ホームとしては双方の満足が得られるよう間に入って馴染みの関係を大切にしようと努めている。本人のちょっとした言葉の端からも支援の糸口を探ろうとしている。 | 馴染みの人や思い出の場所との出会いを探ろうとする取組みが見られるので、その努力は継続して一人でも多く満足感を持つよう支援していきたい。ホームの方針の一つ「今の私の希望実現」につながる事例ともなるだろう。 |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | スタッフはご入居者様の関係性を把握して円満なコミュニケーションが図れる様にサポートさせて頂いている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご退去後もお電話をさせていただいたり、相談に来訪されたりとしており、お話を伺い支援に努めております。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々のご本人様との会話や表情、言動、行動又はご家族様からの情報を元に把握努めている | 今年の方針の一つとして「自分らしい生活の実現」の為、利用者本人の「今年の私の希望」を挙げ、家族・職員が協力してチャレンジしようとしている。これは本当に嬉しい目標で、是非一人でも多く実現させて欲しい。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご入居前よりご家族様から生活歴等の情報を聴き取り、ご本人様からも写真や日々の生活の中での会話にて把握に努めている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ご入居前の生活リズムを踏まえた上で1日の生活リズムや日々の心身状態を見逃さないように記録し、共有に努めている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に1度、チームミーティングや全体ミーティングにおいて評価を行い、主治医又はご家族様へは電話や訪問時にご相談させて頂きながら作成している。 | 職員は担当制でチームリーダーを中心にケアプラン・評価を非常に綿密に実施している。医療関係者のアドバイスも多面的に取り入れ、質の高いケアが見られる。家族の理解・協力もよく感じられる。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護記録、申し送りノートや口伝にて情報を共有しケアの変更等を担当者を含めケアマネへと連携を図っている。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご家族と相談しながら出来る範囲で取り組まさせて頂いている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域の中で日常生活に必要なご本人様が望んだ暮らしが出来る様に情報の提供に心がけて支援している。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご入居者様のかかりつけ医とは受診の際には施設でのご様子などの情報の提供を連絡ノートや電話又はご家族様へお伝えして適切に医療が受けれるように支援をしている。 | 今日の訪問中の午後、ハーモニカの曲が流れてきた。ホームの提携医師によるミニ音楽会と言う。日頃の往診の他に「心の交流」もしてくれている。以前からの利用者のかかりつけ医への受診は原則として家族の役割としている。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 岡山他拠点の看護師が毎週月曜日の定期往診の際にスタッフ一同に対応され、利用者様の薬の管理や塗り薬など介護スタッフが適切に行なっているかまたご入居者様の健康管理をしている。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院の際には主治医の紹介状と合わせて介護サマリを病院へ報告させて頂いています。備えては病院関係者とは特に関係づくりは図っていません。ただ定期的には営業の方が交流を図っている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご家族様と協力医療関係及び主治医と連携して方針を共有しながら出来る事をスタッフとも話し合い取り組んでいる。 | ここ数年間で6人の看取りを経験した。先だって、97歳の利用者が「羨ましい程の最期」を周囲の皆にプレゼントしてくれたという事だが、家族・医療・職員の連携が非常に上手く取れた証拠だろうと思う。今は元気な利用者の活力がこの雰囲気盛り上げていて、職員の底力はもう相当な実力をつけていて、あらゆる状況にも対応できるだろう。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | サービスマスターの「緊急時/事故対応/心肺蘇生術(AEDの使用法等)他拠点よりの訪問看護師より勉強会を行っている。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回(夜間想定/日中想定)の火事対応)セコム関係者を交えて消防署へも事前連絡をしながら災害訓練を行っている。地域の方へも回覧を通して協力をお願いしている。 | 目標達成計画の中の重点項目に取り上げ、災害対策として運営推進会議等を通して避難訓練や関連の行事を計画し実施した。町内会や近隣の住民・家族への参加協力は今はまだ十分とは言えないが、今後も協力をお願いしていく。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 「プライバシーの保護」の基準を読み合わせを行う事で日々のケアにおいての一人お一人に対するの関わりについて確認をしています。 | 生活の全ての場面での配慮は必要だが、特に「排泄支援」「入浴や身だしなみ」等の時に気をつけるべき事を確認し合っている。日常の会話の中でもプライバシーやその人の尊厳にかかわる事については細心の注意を払っていると感じた。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご入居様との普段何気ない会話から見られる表情や行動を洞察しながらご本人様が選択し意思を表出しやすいように声かけを行なっている。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人様の思い、ご家族様の思いを柱に生活プランにて希望に沿った支援をさせて頂いています。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 馴染みの美容室への同行や訪問理美容の利用を含め、身だしなみでは保清と季節毎の衣替えや服装に心掛けて支援を行なっています。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ご入居様とご一緒にお食事をしながら内容や味付け、固さ又は盛り付けなどについて意見を頂く様にしている。準備や片付けでは出来る範囲でお声かけさせて頂き、その時の気持ちを大事にさせて頂いています。 | 野菜たっぷり栄養バランスも良く、薄味だけど美味しい昼食を私達もしっかりいただいた。今は私達と同じものを食べる人が多いが、柔らかめ、小さめ、きざみ、ミキサー食、高カロリー食等、その人、その人に合わせた調理をしている。出来る人は片付けに精出していた。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ご入居様の食事量を記録しています。又水分量の把握の必要な方やお食事量の不安定なご入居様は個別に記録している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、うがいの声かけと共に歯みがきを含めた口腔ケアのお手伝いをさせて頂いています。又、訪問歯科を利用出来る様に支援を行なっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ご本人様の表情や行動を読み取り、お声かけを行うと共に定時誘導にてトイレに座る習慣をつけ排泄を促がす支援をしている。 | 排泄はほぼ自立と言う人も半数近く居て、今は「可能な限り布パンツ使用」を大切にしている。日常生活に全介助が必要な人に対しても、オムツを使わず便座に座ってもらうと排尿が見られるという。排泄の自立支援は特に重視している。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 普段の心身状態を見ながら水分補給や運動を促がすと共に飲み物や食品に配慮はしている。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 入浴前にはバイタル測定を行い、健康状態を確認し、意思決定の出来る方はご本人のご意向を伺い支援をさせて頂いています。身体的に重度の方へはご家族様とプラン相談会にて身体的負荷の観点の説明し清拭や入浴にて対応させて頂いています。 | 少なくとも3日毎には入浴してもらっている。入浴拒否の人も居るが、色々な方法や誘いかけをして浴室まで来てもらうようにしている。希望する人は毎晩足浴をして温まってから寝るようにしている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご入居前の生活パターンを崩すことなく又生活のリズムをつけて暮らすことで眠れる様に支援している。眠剤の服用には主治医・ご家族様と相談しながら個々に応じた支援を行っている。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 誤薬が無い様にご本人様の前で声を出して名前を読み上げている。又、お一人お一人の処方薬を理解し、お薬に変更があった場合にはご本人様又はご家族様や薬剤師・スタッフと共有をしている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご本人様がご入居前に楽しまれていた事、好物等スタッフは入居以前の生活歴等を把握に努め日々の会話の中やお手伝いを一緒にする事を通じて気分転換を図るように支援を支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望に応じて又はその日の心理的状态により、買い物や散歩に個人的に支援している。又月行事では馴染みの関係性に重きを置きくから全体で出かけられる様に支援させて頂いています。 | 以前からの課題の一つであった「日常的な外出支援」がよく実現できるようになった。「みんなで出掛け」が希望と言う事で、例えば「ケーキ屋さんでワイワイお喋り」「運動公園でお弁当」「幻想庭園を楽しもう」等、アクティブな活動が増えている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 現在、買い物や病院受診時にはお預かり金をご家族から預かっている事を説明してお支払いをさせて頂いています。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 職員が電話をした際にご本人様と代わることがある。又携帯を居室に置かれていつでもご家族と連絡がとれている方もいます。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご入居者様の安全性を考慮して季節感を感じて頂ける様に努めています。 | 比較的広い共用空間があるが、利用者を混乱させない為に余り大きく変化させないように配慮している。ある家族が写真を持って来て入れ換えもしていただいたり、季節の物や行事の掲示で話題を広げている。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個人個人の心身の状態に配慮しながら席の位置を決めているがご本人様のその日の気持ちの変化で決定出来る様に判断していたりもいます。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご家族様と相談し安全に配慮しながら馴染みの家具や生活用品を持ち込まれて工夫をしている。 | さんのお部屋でお隣さんも一緒にお喋りした。ミニテーブルとココアでゆっくり4人で寛いだが、ここでの暮らし良さのあれこれを伺う事が出来た。居室は殆んどの場合、寝室としての利用となるが、一人になりたい時、そして、今日のような楽しみにも良い。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 共用部は皆さんが馴染んだ生活空間をあまり変化をつけずシンプルにしています。居室では皆さんが混乱を招か無い様に物の位置に配慮しています。 | | |